

令和6年度 府中市郷土の森博物館
プラネタリウム学習投映のご案内（市外小学校向け）

1. 投映期間

令和6年9月3日（火）～ 令和7年3月21日（金）

※上記期間の平日（ただし、期間中でも都合により予約をお受けできないことがあります）。

※博物館休館日及び学校長期休業中は除く。休館日はホームページなどをご覧ください。

※令和6年7月19日までは博物館本館改修工事のため、休映予定です。工事の関係により、スケジュールが変更になる場合があります。お申込み時にご確認ください。

2. 時間帯

①10:00～ ②11:30～ ③13:00～ ④14:15～ ⑤15:30～ 各回約45分

【予約可能時間帯と期間】

(1) 9月3日～9月13日、10月8日～1月31日、3月12日～3月21日

①～⑤まで全ての時間帯

(2) 9月17日～10月4日、2月3日～3月7日

①、②の時間帯のみ

※一般投映と同じ番組をご希望の場合は、一般のお客様と一緒に観覧いただきます。

※必ず投映開始時刻の10分前にはお手洗いを済ませた状態で、プラネタリウム前にお集まりください。

3. 予約受付

電話でのご予約を随時お受けしています。利用日の1週間前までにお申込みください。

※電話予約受付時間 9:00～17:00

※博物館休館日は除く。

※1回の投映の定員は206名です（令和6年1月現在）。先着順に受付となりますので、お早目にお申込みください。

※予約状況によっては、ご希望に沿えないこともあります。

※人数の都合により、他校と一緒に観覧いただく場合があります。

4. 投映内容

4学年「月と星」…**筆記用具をお持ちください。**

6学年「太陽と月の形」

※詳細は別紙をご覧ください。

※上記以外の学年にも対応できます。

5. プラネタリウム観覧料（30人以上の団体料金）

大人720円、中学生以下360円（博物館入場料：大人240円、中学生以下120円を含む）

6. お問い合わせ先

予約受付 府中市郷土の森博物館 庶務係

投映内容 府中市郷土の森博物館 学芸グループ 天文企画・交流係

TEL:042-368-7921 FAX:042-360-8217

4 学年「月と星」(約 45 分間)

ね ら い	授業中の観察が難しい月や星の位置の変化および星について、既習事項や生活と関連付け、見通しを持った観察を行い、科学的に解決したり探究したりする態度を育む。	
	投映内容	学習の流れ及び学習内容
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 星図の見方の説明 2. 方位確認 3. 太陽の位置の変わり方の復習 4. 月の形 5. 月の位置の変わり方 <ol style="list-style-type: none"> ①半月(上弦)の位置の変わり方 ②満月の位置の変わり方 6. 月の学習のまとめ 7. 星図を使った星探し 8. 星の位置の変わり方 <ol style="list-style-type: none"> ①東・南・西の星の位置の変わり方 ②北の星の位置の変わり方 9. 星の学習のまとめ 10. 今夜の星空解説 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観覧する季節に対応した星図の見方を説明。 ・ 方位の確認。 ・ 太陽の位置の変わり方を見ながら3年生の復習をする。 ・ 太陽が沈んだ後、三日月を見ながら、他にどのような月の形があったか思い出す。 ・ 半月の日の夕方、月がどこに見えるか観察する。 ・ 半月の位置の変わり方を確かめる。 ・ 満月の日の夜、月がどこに見えるか観察する。 ・ 満月の位置の変わり方を確かめる。 月は太陽と同じように東から西へ位置が変わることを確かめる。(※満月の位置の変わり方は記録しながら観察する。) ・ 月の学習のまとめを行う。 ・ 学習投映実施日の夜、府中で見える星空を投映し、星図を使って星を探す。 ・ 季節の代表的な星座をさがす。 例：夏の大三角(はくちょう座、こと座、わし座) さそり座 秋の四辺形(ペガサス座) 冬の大三角(オリオン座、おおいぬ座、こいぬ座) ・ 北斗七星やカシオペア座から北極星を見つける。 ・ 星の明るさの違い、色の違いを確かめる。 ・ 時刻を進めて、星座の位置がどのように変化したかを観察する。形や向きが変化しているかも観察する。 ・ 星は太陽と同じように東から西へ位置を変えていくことに気づく。北天の星は北極星を中心に反時計回りに位置を変えていくことを知る。 ・ 星の学習のまとめを行う。 ・ 学習投映実施日の夜、府中で見える季節の星座を紹介。

※小学4年生では学習投映内で記録用紙に記入を行いますので、筆記用具や探検ボード等をお持ちください。

6 学年「太陽と月の形」(約 45 分間)

ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・月と太陽の位置関係について、多面的に疑似観察する経験をさせると共にプラネタリウムの機能を用いた俯瞰的な視点も与え、月の形の見え方と月と太陽の位置関係についての理解を図る。 ・プラネタリウムの機能を用い、月や太陽の表面の様子をダイナミックに感じさせることで、自然や天文への興味関心を喚起する。
放映内容	学習の流れ及び学習内容
1. 方位の確認 2. 月の様子 3. 月の表面の様子 4. 太陽の表面の様子 5. 太陽と月の特徴のまとめ 6. 月の形と太陽の位置 ・毎日形が変わる月 ・月の満ち欠けの仕組み 7. 月の形の変化と見え方のまとめ 8. 発展学習 9. 今夜の星空解説	<ul style="list-style-type: none"> ・方位の確認。 ・同じ時刻で三日月と半月を見比べ、日によって月の形が違って見えることを確認。 ・クレーター、海、月面の様子、表面温度の説明。 ・月は太陽の光が当たった部分が輝いていることを知る。 ・表面温度、黒点、プロミネンスの説明。 ・太陽は自ら光や熱を出していることを知る。 ・太陽と月の特徴についてまとめる。 ・日没後、同時刻に「月齢3」の月から1週間程度の月を観察する。 ・月の形の見え方と太陽の位置の関係を考える。 ・宇宙空間から俯瞰して「月の満ち欠けの仕組み」を探る。 (発展的学習) ・月の満ち欠けの仕組みについてまとめる。 ・与謝野蕪村の俳句「菜の花や 月は東に 日は西に」から、時刻や月の形を考える。 ・学習投映実施日の夜、府中で見える星空を投映。 ・季節の星座をさがす。 例：夏の大三角（はくちょう座、こと座、わし座） さそり座 秋の四辺形（ペガスス座） 冬の大三角（オリオン座、おおいて座、こいぬ座）